

東日本ユニオンに結集し 現場の声を会社にぶつけよう！

提案されている「乗務員勤務制度の見直し」に関して、7月13日に2017年度申第16号の団体交渉を行い、本提案の目的や運用にあたっての解明すべき点を明らかにしてきました。（「東日本ユニオンNEWS No.1」をご参照下さい）

労働組合だからこそできること！

現場で働く者の声を集めることができる

本提案では選択型短時間行路に対し、乗務員勤務ではない社員の運用に大きな変更があるなど、経営側の視点と実際に職務を担う現場社員の実態とを照らし合わせていく必要があります。

東日本ユニオンは現在提案されている「乗務員勤務制度の見直し」と「賃金制度の改正」の要求策定のみならず、7月1日に実施となった「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化」の問題点についても、組合員及び社員から広く意見・要求を聞く取り組みを進めています。自由闊達に意見が言える労働組合だからこそ、現場第一線で働く組合員と社員の声を聞き集めることができるのです。

「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化」 「乗務員勤務制度の見直し」＋「賃金制度の改正」

職場の東日本ユニオン組合員だけでなく、私たちのホームページを通じて声をお寄せいただくこともできます。



お問い合わせメール
QRコード



ホームページ
QRコード

お聞かせ下さい あなたの声を！要求を！

